

(2023年度) 第39回 函館地区一般クラブ対抗バドミントン大会 [大会要項]

函館地区バドミントン協会

- 1 主 催 函館地区バドミントン協会
- 2 期 日 2023年(令和5年) 12月17日(日)
- 3 会 場 函館アリーナ〔函館市湯川町1丁目32番3号〕 ☎ : 57-3141
- 4 競技種目 男女団体 各1部・2部
- 5 大会日程 7:45 役員入場
8:00 選手入場・会場設営
公式練習・代表者打ち合わせ
※開会式・閉会式は行わない。賞状は準備ができ次第、随時授与する。
- 6 参加資格 ①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人(大学生・高専生を含む)で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録を完了した者。(当日の加盟登録も可とする)
②高校生の出場については1月に行われる全道高校選抜大会への出場権を得た1・2年生によるチーム編成に限り選手強化を兼ね1部への参加を認める。
③高専生は4年生以上の者でチーム編成をして参加のこと。
但し、上記②に該当する場合は、1・2年生のみでのチーム編成により1部への参加を認める。
- 7 チーム編成 ①1チームの構成人数は原則として6名以上～8名までとする。
②チーム編成にあたっては、「19:チーム編成」の欄を参照のこと。
- 8 競技規則 本年度(公財)日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。
- 9 使用器具 ①本年度(公財)日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。
②使用球は、(公財)日本バドミントン協会検定球とする(地区協会にて用意する)
③服装については(公財)日本バドミントン協会検定合格品を着用すること。
- 10 競技役員 ○レフェリー(橋上 直人) ○デピュティ・レフェリー(尾村 晃治)
- 11 参加料 1部 1チーム 12,000円
2部 1チーム 10,000円
※参加料は大会当日に、会場にて受け付ける。
- 12 申込方法 ①所定の用紙(様式1:参加申込一覧)に各競技種目ごとに記入すること。
②不備なもの、及び電話による申し込みは受け付けない。
③「様式1:参加申込一覧」をメールで申し込むこと。
もしくは郵送・FAXで申し込むこと。
④申込締切日 2023年12月7日(木) 必着
⑤申込先 040-0012 函館市時任町11番3号
北海道函館中部高等学校 内 尾村 晃治 (宛)
TEL 0138-52-0303 FAX 0138-52-0305
メールアドレス kozy-omura@hokkaido-c.ed.jp
- 13 組 合 せ 令和5年12月10日(日) 函館中部高等学校 相談室 10:00～
函館地区バドミントン協会がシード法で行う。
- 14 そ の 他 ①競技開始前に代表者会議を行う。各チームの代表者1名は参集すること。
②「大会運営規程」の改定〔第4章 第24条〕(2019年4月19日より)
ウェア(上衣)の背面に「所属チーム」名を表示すること。
(高さ6cm～10cm、横30cm以内)

- 15 審判 ①予選リーグ、決勝・3位決定戦及びその他の順位決定戦は、対戦するチーム同士の相互審判制で行う。また各チームより得点板係を1名相互に選出すること。
②敗者・勝者に関係なく審判を行う。
③競技進行状況により、審判協力をお願いする。
- 16 練習時間 ①会場設営が終了次第、練習時間を設ける。
②各チームごとにコート指定して10分間ずつ実施する。
③コートの指定については組み合わせ会議の場で調整し、協会ホームページに掲載する。
- 17 オーダー提出 ①予選リーグ戦の初回戦については、9：30までに提出すること。
②以降の試合については、放送で指示するので遅れないように提出すること。
③5名・4名編成チームは、第3Dにそれぞれ1名または2名の重複選手名を記入して提出すること。
- 18 表彰 ①上位のチームを表彰する。(優勝・準優勝)
②3位決定戦を行った場合は3位まで表彰する。

19 チーム編成について(参加申込時の留意点)

- ①人数不足について やむを得ない事情によりチーム編成の最低人数6名に満たない場合は、以下によるチーム編成も可とする。
- (ア)「4名編成チーム」または「5名編成チーム」での参加も可とする。
(イ)勝敗及び順位決定については、後述する「21 競技方法」を参照すること。
(ウ)本大会に「参加申し込みをしていない協会登録済みのチーム」から1名～2名を補充して「6名編成チーム」で参加することは可とする。但し、補充によって7名編成チーム・8名編成チームにすることは禁止する。
(エ)やむを得ない事情とは以下の通りとする。
(1)クラブ内の協会登録者数が6名に満たない場合。
(2)参加申込締め切り時に、大会当日人数が最低6名に満たないことが明らかである場合。但し、締切日以降の補充及び変更は不可とする。
- ②同一のクラブより複数のチームを編成する場合
(ア)同一クラブより複数のチームを編成することは可とする。その場合は、団体名に(A)・(B)などの識別記号を記すること。
(イ)各試合において同一クラブ内の分散化したチーム相互間での選手の貸し借りは禁止する。
(ウ)以下、上記①の各項目に準ずる。

【平成13年度函館地区一般クラブ対抗大会：代表者会議での申し合わせ事項(確認)】

- ・他チーム(クラブ)との重複登録及び年度途中での登録変更は認めない。
- ・地区協会主催による年間の大会スケジュールを考慮し、年間を通じた大会出場を見越して協会登録を行うこと。
- ・その他、協会の判断による。

20 大会当日の「代表者打合せ」での協議事項及びその他について

- ①大会当日において、やむを得ない事情により欠員が生じ、必要最低人数(6名)が揃わず人数不足となった参加希望のチームの取り扱いについては以下の通りとする。
(ア)代表者は打合せの前までにその旨申し出ること。
(イ)申し出のあったチームについては以下の通り扱う。
(1)人数不足のまま「4名編成チーム」又は「5名編成チーム」で試合を行う。
(2)エントリー選手の変更を希望する。
但し、変更する場合は同一クラブに登録済みの者で、本大会の参加申込締切時において参加選手名簿に記載されていない選手とし、1～2名までとする。
- ②やむを得ない事情により大会途中(予選リーグ戦・決勝・3位決定戦及びその他の順位決定戦)で欠員が生じ、必要最低人数(6名)を欠いた場合は、以下の通りとする。
(ア)「オーダー用紙の提出前」に速やかに競技委員会(本部席)に申し出ること。
(イ)人数不足のまま「4名編成チーム」または「5名編成チーム」で試合を行う。
この場合、勝敗及び順位決定については、後述する「21 競技方法」を参照すること。
(ウ)申し出後の試合については、「欠員の補充」についてはいかなる方法でも認めない。
(エ)申し出のない場合は、当該チームを「失格」とし、以降の試合を行わない。又、それ以前の試合結果については抹消する。

21 競技方法・勝敗及び順位決定について

①競技方法について

- (ア) 男女別に部門別(1部・2部)の団体戦を行う。
- (イ) 各部門の参加チーム数が少ない場合は、他の部門のチームに統合して行う場合がある。
- (ウ) 出場チームの「チーム編成の確認」「1部・2部の判定」及び「組合せ方法」は競技委員会が組合せ会議で検討・協議し決定する。
- (エ) 各部門ともリーグ戦による予選を行い、その試合結果により決勝戦及び3位決定戦の試合を行う。
- (オ) 参加数により1ブロックのみの総当たりのリーグ戦で順位を確定する場合もある。
- (カ) その他の順位決定戦を行う場合もある。
- (キ) (ア)～(カ)については、組合せ会議において競技委員会で検討しその実施の可否を決定する。

②予選リーグの試合方法及び順位決定方法について

- (ア) ダブルス3ペアによる団体戦とする。
- (イ) 予選リーグは勝敗結果にかかわらず1D-2D-3Dまでの試合を行う。
- (ウ) 「5名編成チーム」の場合は3D目において1名が重複出場する。「4名編成チーム」の場合は3D目において2名が重複出場する。但し、いずれの場合も星取り表では3D目を負けとして算定する。
- (エ) 競技の進行状況により、対抗戦内の各試合を複数のコートに開いて行う場合もある。
- (オ) 予選リーグの順位決定については、1D-2D-3Dまでの結果をすべて、勝敗数として算出して順位決定する。
- (カ) リーグ戦方式で試合を行う場合の順位決定方法は以下の順で行う。
勝敗数→取得ゲーム率→取得ポイント率

③決勝・三位決定戦及びその他の順位決定戦について

- (ア) 試合形式については、トーナメント戦もしくはリーグ戦とする。
- (イ) 競技の進行状況により、対抗戦内の各試合を複数のコートに開いて行う場合もある。
- (ウ) 競技方法については以下の通りとする。
 - (1) 3組による対抗戦とし、先に2勝したチームを勝ちとする。
 - (2) 対戦結果が(2-0)になった場合の残りの第3ダブルスの試合については対戦チーム相互の合意があれば試合を行うことは可とする。この場合、主審は本部席に連絡すること。
 - (3) 競技の進行上、複数のコートに開いて同時に試合を行っている場合、試合途中のダブルスの試合が残っていても途中打ち切りせず試合を続行することは可とする。
 - (4) 上記の(2)(3)の場合について、その結果は対戦成績には含まないものとし、表記上は(2-0)のままとする。
 - (5) チーム編成人数が4名または5名編成のチームの試合についても同様とする。
※但し、会場の都合(時間制限・コート数など)によりやむを得ない場合には、2勝先取で途中で打ち切る場合もある。

22 大会運営について

- ① 競技スペースには当該試合の団体選手以外は立ち入らないこと。(監督・コーチ用の椅子は置かない)
- ② コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず各自持参し、飲み物も各自バッグに収容する。
- ③ ゴミは持ち帰りとする。

1	前年度：クラブ対抗	各部（種目）の優勝チーム			(2022年度) (令和4年)		
	1MT (1部男子)	市田組A	津嶋 利章・三上 卓也・北村 功太・田中 健太 川橋 尚斗・笠間 勇汰・河北 翔太				
	1WT (1部女子)	函館BLC.06	廣岡 優・沢田 聖美・能登 和希・川橋 雪乃 松本 香織・播磨 紗貴(函大有斗)				
	2MT (2部男子)	MCC	片岡 大蔵・戸倉 凌太・佐野 晃平・山崎 裕司 山村 新・水野 翔之・後藤 裕幸				

2	今年度の各大会の優勝者(含む、昇格について)			(春季一般大会・道南大会のみ掲載)		
	① [2023年度：第49回 函館地区春季一般バドミントン大会]					
	1MD	辻村 駿 福士 和真	(モンスプレーヤーズ) (市田組)	1WD	高藤 奈々華 村中 絢	(北斗) (北斗)
	1MS	福士 和真	(市田組)			
	2MD	道下 大空 東 篤玖	(函館大学) (函館大学)			
	2MS	東 篤玖	(函館大学)			
	VD	井上 正樹 狩野 利行	(モンスプレーヤーズ) (モンスプレーヤーズ)			
	② [2023年度：第50回 道南バドミントン大会]					
	1MD	福士和真 竹田舜也	(市田組) (市田組)	1WD	松本香織 相原美智子	(函館BLC.06) (函館BLC.06)
	1MD	高野克 平山智広	(モンスプレーヤーズ) (MCC)			
	VD	水上 京子 石田 ゆかり	(函館BLC.06) (函館BLC.06)			